

## ●認知症サポーター養成講座～高取小3年生～

10月7日にキャラバンメイトの認知症サポーター養成講座が高取小3年生を対象に開催されました。今年で3年目となり、高取小学校でも授業の一環として受け入れていただいています。当日は寸劇をはさんで認知症の簡単な説明と認知症の人にとどの様に接したらよいかをスライドを使って説明しました。子ども達からは色々な質問や意見を出してもらい、理解を深めてもらったのではないかと思います。27年度は11月にもいきいきクラブさん、来年1月に子ども会さんを対象に養成講座を開催する予定です。認知症についてのお話に興味のある方は、まち協までお知らせください。皆さんの前で開催できることをキャラバンメイト一同願っています。



## ●水仙の花で癒される公園に・・

閑散とした冬の八反田公園を彩るため、高取まち協では3年計画で水仙の植栽を企画。その一年目として“八反田公園の魅力アップ事業”メンバーの下、10月19日水明会の協力を得て高取幼稚園・高取保育園の園児と共に水仙の球根植栽を行いました。園児達がどの程度の作業が出来るのかと、苗床造りなど事前準備に大いに頭を悩ませ当日までドタバタの対応でした。しかしその苦勞も子ども達が集まり楽しそうに球根を植え始めると、我々も園児につられて大いに盛り上がり、大人の方が楽しみ若返った一日でした。どんな花が咲くのか開花が今から楽しみとなりました。



## ●高取婦人会の存続にかけて！！ 高取婦人會會長 藤浦貴子

高取婦人会は、発足から50年は経っているでしょうか。私はその中で、まだ1年半程しか経っていない新参者です。“婦人會”と聞くと「地元の年配の女性が入っていて、盆踊りをやっているんでしょ」「面倒くさい」「私には関係ないわ」と考えている方が多いでしょう。現にこの私がそうでした。今や婦人會は減少傾向にあるのが現状です。仕事・家事・育児・介護等をこなす忙しい今の女性に、婦人會への入會を期待するのがおかしいのかもしれませんが。しかしセミナーで「婦人會は元祖ボランティア活動団体」「行政と地域の方々を繋ぐパイプの役目」と学びました。女性ならではの視点で活動することで、自己啓発やスキルアップにも繋がります。そこで、今日まで存続し続けてきた高取婦人會を「何とかしたい！」と思っているのです。

その為には私達がどのような活動をしているか、その姿も多くの人に知っていただく必要があると考え、今年度はアピールに力を入れました。ゴキブリ団子を作って地元の小学校・幼稚園・保育園・公民館・青少年ホーム等へおすそわけ、社会見学旅行・盆踊り、高取まち協との連携などを通して、より多くの地域の方々との触れ合いとその充実感を実感しています。2年連続で参加したこもれびの里の納涼祭りでは、笑顔と感謝の言葉を頂き、會員一同嬉しく思いました。

昨今起きている様々な自然現象。万一、非常事態が起きた場合、日頃からの地域の方々同士の結びつきはもちろん大切ですが、女性ならではの力がより一層求められてきます。その時こそ、婦人會の結束力が重要になってくるのです。婦人會の活動を人ごとだと思わず、ぜひ、ご一緒しましょう。高取の女性パワーを結束させて楽しくやりましょう！

